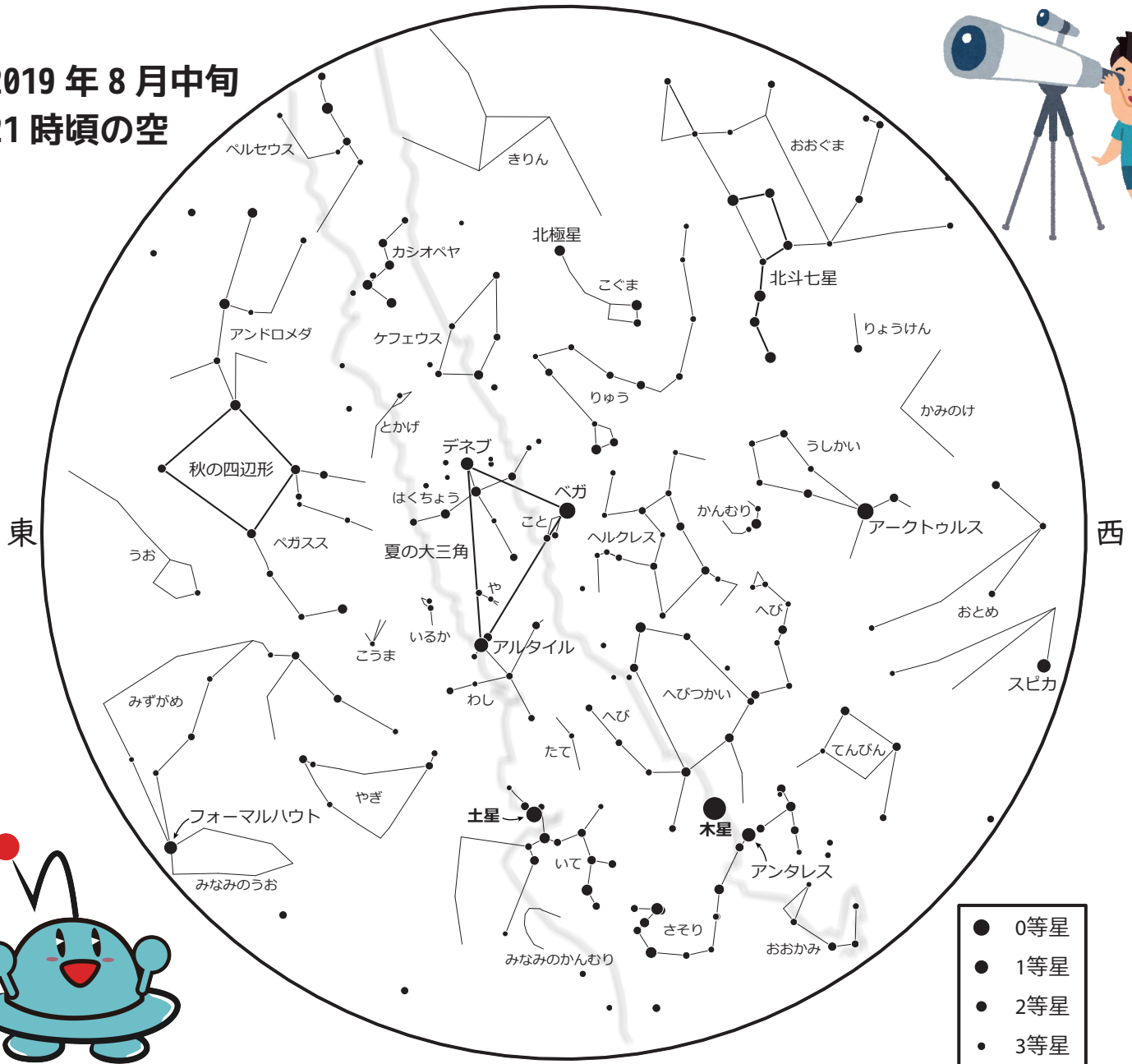


阿南市科学センター 8月の星空案内

北

2019年8月中旬
21時頃の空



南

セミの鳴き声が鳴り響く暑い8月がやってきました。夜空を見上げれば夏の三大角（ベガ、デネブ、アルタイル）が見え、月の無い晩に空の暗い場所であれば、天の川の観察もできることでしょう。古代中国では天の川のことを天漢（てんかん）と呼んでおり、「漢」という字は中国の漢水（かんすい）という川の名に由来しています。この川の流れに沿って水面に天の川が映りこむ姿は、まるで天上と地上の世界が繋がっているように見えたと伝えられています。ちなみに日本の万葉集にも、七夕に関する詩の中には天漢という言葉がしばしば出てきます。なお今年は天の川を挟んで西側に木星、東側に土星が位置しており、賑やかな夜空となっています。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて【毎週土曜日開催 / 19時～, 20時～, 21時～】

阿南市科学センター

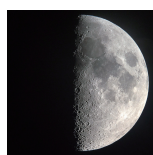
電話 0884-42-1600

<http://ananscience.jp/science/>

■ 8月の月の満ち欠けと惑星について



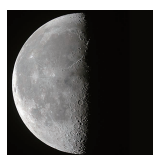
新月
1 日



上弦
8 日



満月
15 日



下弦
23 日

8月の天体観望会で月が見える日時は？



8/10(土)・・・全ての回で観察可能



8/17(土)・・・21 時の回で観察可能

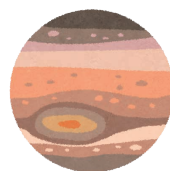
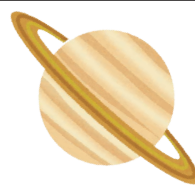
水星：8/10に西方最大離角。夜明け前、東のごく低空で見える。【約 0 等】

金星：太陽に近く観察は難しい。8/13に外合。

火星：太陽に近く観察は難しい。9/4に合。

木星：日没後から南の空で見える。天体観望会では 20 時の回がオススメ。【約 -2 等】

土星：日没後から南東よりの空で見える。天体観望会では 20 時の回がオススメ。【約 0 等】



■ 8月のおすすめ天体と天文現象

【夏の二重星たちを見よう！】



アルビレオ (はくちょう座ベータ星)



わし座 57 番星



はくちょう座 61 番星

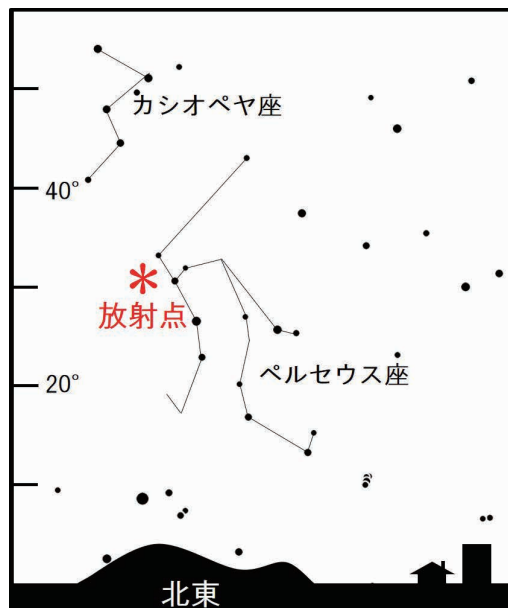


いるか座ガンマ星

二重星とは、肉眼で見たときは 1 つにしか見えない星が、望遠鏡で拡大してみると 2 つの星が仲良く並んで見える天体のことです。夏の二重星と言えば、はくちょう座のアルビレオが大変有名です。色の対比が美しく、小型の天体望遠鏡でも手軽に楽しむことができます。その他、わし座 57 番星、はくちょう座 61 番星、いるか座ガンマ星なども、夏の二重星としてオススメです。このうち、はくちょう座 61 番星は初めて年周視差によって距離が測定された星としても有名です。

【ペルセウス座流星群】

毎年活発な活動を示すペルセウス座流星群、2019 年は 8 月 13 日の 16 時頃（日本時間）が出現のピークだと言われています。ただ月が満月に近く、観察の条件はあまり良くありません。それでも 1 等より明るい流星が流れれば、月明かりがあっても十分見ることができるので、是非根気よく観察にチャレンジしてみてください。観察をするときは、なるべく空が開けた場所で広い範囲を監視してください。寝転がって見るのも良いです。流星群は放射点を中心にして放射状に飛びますが、そこから離れた場所に現れることもあります。



8 月 13 日 0 時頃の空（放射点の位置）